

## 指導者紹介 NO 1

県内各地で活躍する公認スポーツ指導者を紹介します。

その人となりを知ってもらうことにより、地域スポーツ指導者としておおいに活躍していただくことを目的とします。

指導の要請に応じ、福島県スポーツ指導者協議会が仲立ちします。

第 1 回は日本の伝統的なスポーツ・弓道に魅せられスポーツ指導員の資格まで取得されたクリス・コックランさんです。

### 1 名前

クリストファー・デービッド・コックラン

Christopher David Cochran

ニックネーム:クリス



### 2 出身国・出身地

アメリカ合衆国 イリノイ州

### 3 学歴

1997年5月 イリノイ大学卒業（専攻:政治学・英語）

### 4 家族(アメリカ・日本での)

アメリカのイリノイ州には母と姉夫婦がいます。その他に、祖母、伯母、叔父、いとも同じ州に住んでいます。

日本では妻と二人暮らしです。市内には義母、義姉家族、義妹弟がいます。

### 5 日本に来たきっかけとその理由

昔から日本の文化や歴史に興味を持っていましたが、物価が高く土地が狭いというイメージが強く、アメリカから出たことのなかった私には、日本はとても遠い国でした。

ところが、インターンシップで記者の仕事をしていた大学時代のある日、電車のホームで日本語の本を読んでいた女性に目に留まり、思い切って話しかけてみました。彼女はJETプログラムで日本に滞在していたことがあり、それはとても楽しい経験だったと話してくれました。ほんの5分くらいの会話でしたが、今考えるとこの時の出来事が、その後の私の人生に大きな影響をもたらしました。

1年後、幸運なことに私もJETプログラムに採用され、大学卒業後ALT(Assistant Language Teacher＝外国語指導助手)として福島県いわき市の小中学校で英語を教えることになりました。

現在は、その時の経験を生かして英会話スクールを運営しています。

### 6 弓道というスポーツに興味を持った理由(母国でのスポーツ経験)・弓道を指導して思うこと

アメリカではできるだけたくさんのスポーツを経験したいと思い、子供の頃は近所の友人たちとアメフト、野球、バスケットボール、ストリートホッケーなどで遊びました。高校生の時は陸上部で 100m 走と 200m 走をしていました。

弓道との出会いは 19 年前で、いわき市の飯野八幡宮で流鏝馬を見て和弓に興味を持ち、その日のうちに射手に市内で弓道ができる道場を紹介して頂けるようお願いしました。その後、現在お

世話になっている範士八段の橋本眞也先生や弓道仲間に出会いました。現在は五段を取得し、錬士という称号に挑戦中です。

私の通っている弓道場では19年間私が唯一の外国人でしたが、去年から仕事の関係で知り合ったカナダ人とその友人であるアメリカ人2人が共に通い始めました。私は仕事の都合で彼らの練習には付き合えていませんでしたが、日本語がまだ十分ではない彼らには言葉の壁は厚かったようで、今年の2月からは私が教えることになりました。

彼らには弓道の技術はもちろん、弓道の理念についても教えたいと考えています。弓道はスポーツの一つですが、一番の魅力は弓道の「道」の部分に隠されているように感じています。弓と矢を扱うのも楽しいのですが、それ以上に弓道は奥深く、人生を豊かにする力があると思っています。

## 7 いわき市で生活をしてよかったところ

いわき市では妻に出会えたことを感謝しています。そして、弓道の他に空手(二段/黒帯)も習っているのも、スポーツを通してたくさんの友達にも出会えました。

英語の先生としても生き甲斐を感じ、生徒さんの成長する姿を見ることも嬉しいことの一つです。弓道やほかのスポーツで学んだことを仕事で生かすこともあります。

## 8 日本人へ言いたいこと

初めて日本に来た頃はあまり日本語を話せませんでした。今振り返ると、私に弓道を教えてくれた先生は大変だったことだろうと思います。しかし先生は、言葉と文化の壁に動じることなく、弓道の他にも文化や日本語の習得にも力を貸してくださいました。

日本では英語が得意ではないという理由で外国人を避けてしまう方もいらっしゃると思いますが、是非怖がらないで欲しいと思います。東京オリンピックも決まりました。これをきっかけに、もっと外国人に積極的に接して、今よりもっと国際交流ができるようになれば、お互い得るものも大きいと信じています。